

受験番号 _____

平成 28 (2016) 年度 一橋大学大学院 言語社会研究科博士前期課程 (修士課程)

秋季入学試験問題

第一部門

論 文 問 題

- ・ 試験開始の合図があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・ 一般受験者および社会人受験者は、(1) 論文問題 A 群の出題に、問題文に記されている指示に従って解答し、さらに(2) B 群 (01~13) に出題されている問題から 1 問を選んで解答しなさい。
- ・ 外国人留学生受験者は、論文問題 A 群に解答するか、あるいは B 群に出題されている問題すべてのうちから 1 問を選んで解答しなさい。
- ・ 一般受験者および社会人受験者にあつては、「論文問題 A 群」「論文問題 B 群」につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
- ・ 論文問題 A 群への解答に際しては、問題文に記されている指示に従って、選択したグループ番号を「科目欄」の問題番号記入欄に記し、論述に使用するキーワードを、解答の前の一行目に記すこと。
- ・ 論文問題 B 群への解答に際しては、解答用紙の科目欄に、選択した問題番号を記入すること (例: B01、B04 など)。
- ・ 解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・ 本冊子は持ち帰ってはいけません。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入しなさい。

A 群

問い 次のキーワードのグループ①～③から、一つのグループを選び、グループ内のキーワードを必ず三つ以上使用して、一つのテーマ、問題関心について論述しなさい。キーワードの解説ではなく、小論文として首尾一貫したものになるよう心がけ、全体にタイトルを冠しなさい。解答に際しては、どのグループとキーワードを選択したか、問題冊子表紙の指示に従って記すこと。

グループ①

隠喩(メタファ) 虚構(フィクション) セクシュアリティ

権力 記憶 植民地 人文主義 倫理 主体 モダニズム

グループ②

技術 言葉 メディア(メディアム) 公共性 編集

古典 メロディ 滑稽 創造 崇高

グループ③

リテラシー 方言 多様性 マイノリティ 記号

ネーション 語用論 語源 クレオール 動機づけ

B 群

- 01 以下の文章はジャック・デリダがエマニュエル・レヴィナスを論じた文章からの引用である。用いられている各概念に注釈を施しつつ、この文章についてみずから考えるところを記しなさい。

権利関係により非公開

(『アデュー——エマニュエル・レヴィナスへ』藤本一勇訳)

- 02 「学校で教えてくれない音楽」についてあなたの考えるところを述べなさい。
- 03 「幸福」に関する以下の二つの考えについて、それぞれ批判的にコメントしてください。
- (1)「幸せとは、幸せだと感じていることである」とする幸福の「主観性」説
 - (2)「幸福と道徳性が一致することこそ最高によいことだ」とするカントの主張
- 04 文学作品(演劇、映画などを含む)を論じるとき、A～Cの要素と作品の関係を、あなたはどのようにとらえているか。A～Cのうちひとつを選び、具体的な作品に即して論じなさい。
- A 歴史的文脈
 - B 地域性
 - C ジェンダー
- 05 言語が文字によって表記されなかった段階から、一定の標準形と正書を備えた書きことばを獲得するに至るプロセスはいかなるものであるだろうか。具体的事例をふまえつつ、社会言語学的観点から論じなさい。
- 06 “Immature poets imitate; mature poets steal.” (T.S.Eliot, “Philip Massinger”)
詩に限らない具体的な文学作品を例にとりながら、この格言の意味するところを自分なりに解釈しなさい。また、そこから敷衍するかたちで、文学作品が先行する諸作品ととりむすぶ関係性について自由に論じなさい。
- 07 日本近代文学における「私小説」について、知るところを具体的な事例を挙げて述べなさい。

08

権利関係により非公開

(小林秀雄「レオ・シューストフの『悲劇の哲学』」)

具体的な「文学」作品や「哲学体系」を例として用いながら、上の引用文において述べられている「レトリック＝修辞学」と「言葉」と「論理」とのあいだの関係を解説しなさい。また、それをふまえたうえで、引用文から導き出すことが可能な「文学」(あるいは「文学性」「詩的言語」)の定義を提示しなさい。

- 09 英語圏のある特定の文学、映画、芸術作品またはポピュラーカルチャーの事象を研究する際に有用であると思われる二名の理論家または研究者・批評家の文章を挙げて、それぞれの特徴について記しなさい。その際に作品名あるいは事象名および理論家・研究者の名前と書物名(論文名)を記すこと。また、その作品または事象そのものを緻密に精読した場合に、こうした理論や研究の内容には必ずしも収斂することのないどのような視点が得られるかについても述べなさい。(かならず上記二つの問いに答えること。)
- 10 中国ないしは台湾の近現代文学のなかから、任意の文学論争を取り上げ、それを説明しなさい。また、その論争を研究する今日的な意義について述べてください。
- 11 近代の日本において「標準語」という概念がどのように発生して普及していったのか、具体的に論じなさい。
- 12 ドイツ語圏の文学・思想などの任意の言語作品(複数可)を取り上げ、下のテーマのうち一つを選んで論じなさい。その際、取り上げた例に即して二つの観点の双方からなるべく具体的に論じること。
 - ア) 道徳と感情
 - イ) 大人と子供
 - ウ) 宗教と職業
- 13 美術館、博物館、文学館等を含めたいわゆるミュージアムを一つ取り上げ、その歴史や特徴を概観した上で、現在抱えている問題、それに対する対応の可能性を論じなさい。一般論ではなく個別の事例を取り上げること。また概数でよいので、入館者数や予算などの具体的なデータに言及することが望ましい。